

2. 主な内容（主な項目ごと）

●人口減少・少子化関係

市民の意見	市長の回答
・婚活に力を入れて子供を増やしてほしい。	○まずは結婚をしてもらうことが大事だと考える。「結婚応援日本一のまち」を目指し、出会いの場の提供、結婚応援、新婚生活への支援などの事業に取り組んでいく。
・企業誘致に力を入れ、移住定住のための雇用対策にもなるのではないか。	○坂井市内には働く場所が数多くあるので、職場体験を通して、学生に伝えていきたい。また、企業誘致もしていく。都市圏で開催される移住相談会への参加、移住関連サイトへの情報掲載や移住希望者への現地案内など、に取り組む。

●まちづくり関係

市民の意見	市長の回答
・まちづくりは、自分たちで出来ることは自分たちで実施するというのを方針としているが、住民ではできない部分を応援していただきたい。	○住民主体、協働のまちづくりを進めていく上で「自助・互助・共助・公助」が大切で、住民と行政がそれぞれの責任と役割を自覚し協力しながら進めている。今後も住民の意識醸成が図られるよう、市内の様々な活動の実践例をお示ししながら取り組んでいく。
・まちづくり協議会の担い手がいなくて困っている。人が循環して、いろんな人が関わってまちづくりをすべきだと思う。問題解決策の情報の提供、指導もお願いしたい。	○地域住民が主体となることが重要である。難しいこと、手間がかかることは負担が大きいので、ゆるい関係、絆を作ること、集まる場を作ることなど、地域の皆さんで話し合いをしていただきたい。具体的事業については、市に相談いただきたい。

●教育関係

市民の意見	市長の回答
・学童の危険を減らすために、防犯灯や空き家の雑木等の整備をお願いしたい。	○通学路の安全性向上については、県や警察署などの関係機関と協力しながら取り組んでいる。また、毎年学校や関係機関等と合同で点検も実施している。改善要望等があれば、まずは学校に相談していただきたい。
・発達障害のある子供の学校生活を支援す	○幼保園、県特別支援教育センター、医療機

<p>る仕組みづくりをお願いしたい。</p>	<p>関、福祉部局とのネットワークを強化するとともに、児童生徒の状況や支援内容について共通理解を図り、保護者への適切な教育相談、就学相談に取り組んでいく。</p>
------------------------	---

●オンデマンド交通関係

市民の意見	市長の回答
<p>・コミュニティバスの本数やルートを増やし、市内高校生の通学の利便性などを図ってほしい。</p>	<p>○高校生通学等の利便性向上のため、コミュニティバスの増便について検討する。路線バスについても、バス事業者へ要望していく。</p>
<p>・料金が少々高くなってもいいので、エリアをなくした活用方法を検討してほしい。</p>	<p>○令和5年1月から近距離の移動手段を目的としたオンデマンド交通を運行している。広域での移動については、コミュニティバスや鉄道などを利用していきたい。できるだけ多くの人が利用しやすいコースづくりが望ましいと考えている。</p>
<p>・高齢者の通院支援として、オンデマンド型交通に期待する。わかりやすい利用方法の周知と、地域の実情にあった高齢者のための安全な乗降場所の確保等、利用者に沿った運行をお願いしたい。</p>	<p>○オンデマンド型交通の新規停留所については、各区から要望をお聞きし、安全な乗降が可能かどうかを現地確認したうえで設置することとしている。利用者のご意見をお伺いしながら、外出支援の取り組みを進めていきたい。</p>

●防災関係

市民の意見	市長の回答
<p>・防災無線が完全に聞こえている家庭は少ないようである。現状を調査把握し、通知が市民全員に届くにはどうすればいいか考えてほしい。</p>	<p>○防災情報を伝えるため、複数のツールを準備している。それぞれに長所、短所があるので、より多くのツールを利用してほしい。スマホを持たない高齢者には、ご自宅の電話に避難情報を伝える「音声一斉配信」や見守りロボット「PaPeRoi(パペロイ)」による災害情報の発信も行っている。</p>
<p>・災害時の自主防災や初動体制の強化が必要。研修の実施が必要ではないか。</p>	<p>○地域の地形や特色などにより、初動体制も異なることから、地区には、防災リーダーが必要である。一般的な防災知識を地域の特色に合わせた体制の強化を行っていただく必要がある。市では、研修や知識を広めていただくために防災出前講座なども行っている。</p>

●道路関係

市民の意見	市長の回答
・県道丸岡インター線について、早期整備を要望する。	○市の最重要整備路線であり、県と事業推進を図りながら、国及び県選出国會議員に対し、強かに継続的に要望活動を行っていく。
・道路の端がガタガタである。自転車で走っていると車輪がとられ、バランスを崩して車道へ転べば事故に巻き込まれると思う。通学路は、子供たちの安全につながるよう整備をお願いしたい。	○舗装補修については、陥没や舗装の剥がれ等の通行に支障がある場合には早急に穴埋め等を行っている。また、全体的な舗装修繕については、計画的に進めていく。

●空き家関係

市民の意見	市長の回答
・商店街の空き家対策でリノベーションして活性化を。	○空き家または空き店舗を活用する事業の周知を図っていく。住宅の空き家対策については、空き家取得や空き家改修等の補助金を活用してもらい、積極的に対策の強化に取り組んでいきたい。
・空き家を利用した多世代交流の場をつくってはどうか。例えば子ども食堂の場や勉強を教える場所、資源リサイクルの場など。	○交流の場の整備については、地域の状況を踏まえたものがより良く、地域が主体となって考えていただき、市に相談してほしい。
・所有者への管理体制強化や細やかな支援体制の構築を。	○空き家の管理がされていない場合、所有者等へ適正管理通知を送付し、現状を把握していただき適切な対応をお願いしている。空き家情報バンクへの登録促進を図り、家財処分や空き家診断などの補助金制度など新たな支援体制を検討していく。

●子育て関係

市民の意見	市長の回答
・子供の遊び場が少ない。	○坂井市にはエンゼルランドふくいをはじめ、ゆりの里公園や三国運動公園など様々な子どもの遊び場がある。今後、雨や雪が降っても利用できる全天候型の子どもの遊び場整備に取り組む。
・土日に乳幼児から子どもが遊べる屋内施	○雨や雪が降っても利用できる全天候型の子

<p>設を設置してほしい。また、子育て支援センターは平日しか利用できない。</p>	<p>どもの遊び場整備に向けて取り組む。整備内容については、工夫を凝らしたものにしたいと考えている。また、子育て支援センターでは、毎月第3土曜日の午前中に子育てひろばを開放している。保育士が対応しているので、育児相談や悩みごとがあったら、相談していただきたい。</p>
---	--

●環境・ごみ関係

市民の意見	市長の回答
<p>・有害鳥獣について、近年被害拡大している。これも就農を衰退させる一因ではないかと考える。</p>	<p>○農作物被害防止対策については、要望があればカメラや囲いわなの設置など、坂井市鳥獣害対策協議会で協議のうえ、可能な限り対応をしていきたい。</p>
<p>・最近の線状降水帯による大雨の被害が多い。防災、水に関して心配している。様々な避難の情報を知りたい。</p>	<p>○水害における避難所や情報伝達手段などについては、令和3年度に全戸配布した洪水、土砂ハザードマップに記載しているので確認していただきたい。また、災害情報は防災行政無線だけではなく、テレビやラジオ、市ホームページ、防災アプリ、防災メールなどで発信している。特に防災アプリでは、防災情報リンクの画面から気象情報や避難情報、河川の水位など様々な情報があるので、活用していただきたい。</p>
<p>・10年ほど前に配られたゴミ分別の保存版の冊子を、今後改訂する予定はないか。予定があるなら、町内会への新規加入者に説明するときに使いたいため、ぜひいただきたい。</p>	<p>○ゴミ分別の保存版冊子「ゴミ分別の手引き」の改訂は、令和2年度に行っており、坂井市ホームページで公開及び転入者へ配布も行っている。また、ゴミ分別を簡単に検索できる「ごみサポ!」アプリを令和4年4月より配信を開始しているため、町内会の新規加入者様への周知方法として、活用していただきたい。冊子版もあるので、希望される場合は、連絡してほしい。</p>

●その他

市民の意見	市長の回答
<p>・未だに4町が分かれているような感じだが、旧町のよいところは残しつつ一体感を感じられる市を作してほしい。具体的には言えないが、どんどん人口も減っていくので、坂井市という一つのまちを作っていってほしい。</p>	<p>○各地域の特性は今後も活かしていきたい。また市内の一体感を生むための方策も必要であると考えている。市民が自分の住まい以外の旧町のことも自分ごとととらえ、まちの誇りや愛着を感じられるよう、坂井市に生まれ育って住んで</p>

<p>い。</p>	<p>いてよかったと思えるような取り組みを検討していく。</p>
<p>・丸岡城の耐震工事を早急に実施してほしい。(ボランティアガイド協会)</p>	<p>○現在策定中の保存活用計画で内部階段の安全対策、入り口階段の安全対策等を検討している。耐震工事も含め、大規模修理や防災、防犯、安全対策に必要な工事は北陸新幹線開業直後を避けた、令和7年度～8年度で計画している。</p>
<p>・坂井市民の来城を増やすために、無料開放や登城の日などを設定できないか。</p>	<p>○元日に天守の登城は無料となっているほか、福井県の定める「ふるさとの日[2月7日]」に無料開放を行っている。また、市内全小中学生の校外学習に積極的に協力し、来城を促していきたい。</p>
<p>・インバウンド対応について、語学力も専門知識もある方々の協力を得られないか。</p>	<p>○インバウンド対策を検討する過程で、具体的にどういった協力を得られるか検討していきたい。</p>
<p>・市役所本庁舎が坂井町にあり、行政の中心なるので、今後の市のデザインを聞かせてほしい。</p>	<p>○市役所本庁や JR 丸岡駅、東十郷中央公園等の公共公益施設が集積している良好な環境である。今後、既存の公共施設の有効活用や公園等の整備を順次進めていきたい。</p>
<p>・商工会独自のオリジナル商品を作りたい。市名物品として売り出していきたいので、市からご支援いただきたい。</p>	<p>○市商工会女性部と市商工会事務局、市、DMO さかい観光局などとの話し合いの場を設け、新幹線開業に向けてご提案の取り組みが実現できるよう取り組んでいきたい。</p>
<p>・新幹線開業後、駅からどうやって坂井市にお越しいただくことになるのか。交通の便のアクセスが悪いと感じるが、いかがか。</p>	<p>○現在、増便などについて、バス事業者とともに調査研究を行っている。また、コミュニティバスの運営方式の見直しを含め、利便性を高める取り組みを検討していく。</p>